



たきた敏幸県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

北総鉄道 運賃値下げ検討へ!!

質問 新型コロナウイルス感染症の影響により、県民の通勤・通学などの活動を支える公共交通事業者は、大変苦しい経営を強いられている。

先ごろ発表されたJR等の決算も各社軒並み赤字であり、テレワークの普及等により、公共交通需要は元の水準に戻らないことも懸念され、今後も厳しい事業環境が続くものと想定される。

このような状況の中、注目されるのは、他社と比べ極端に高いとされる東葉高速鉄道と北総鉄道の運賃についてだ。

北総鉄道の問題については地元の滝田議員をはじめ、自民党としても取り組んでいた課題だが、現況は毎年度、安定的に黒字を確保し、繰越損失も約44億円まで減少するなど、経営状況が



滝田 千葉県監査委員に就任

千葉県議会随一の論客として活躍する滝田敏幸県議(4期)は7月13日、議会の同意のもと、熊谷俊人知事より千葉県監査委員の辞令交付を受けました。今後、知事の指揮監督から独立した執行機関委員として、県行財政を公正不偏の立場で監査を行うこととなります。

また、6月定例会自民党代表質問に対し、熊谷知事は「(北総鉄道社長より)運賃値下げ検討に着手」と答弁。過去15年で20回を超え

通学定期、最大限の値下げ要望 沿線域内運賃体系見直しへ全力

要望 北総鉄道が今般運賃値下げに向けた行動を表明したことは、大変大きな決断であり、高く評価したいと思う。ここで、値下げに当たってぜひ実現

再質問 質問 値下げ幅や時期など、室谷社長から具体的な内容についての言及はあったのか。

また、県は今後、値下げの実現に向け、どのように取り組んでいくのか。

知事 社長からは、値下げ幅や時期など、具体的な内容についてのお話はありませんでした。

県としては、値下げが確実に実施されるよう求めてまいります。また、その内容につきましても、新たな運賃体系が経営の持続性を確保できる範囲で、他社のものに近づくよう、働きかけてまいります。

字を計上し、累積損失も着実に減少するなど、高運賃問題への対応に向けた経営環境は整いつつあると考えていたところです。

こうした中、今月18日に同社の室谷社長と会談し、会社の決算や財務状況をうかがう中で、早ければ令和4年度中にも累積損失を解消できる見込みであるとの発言があったため、私から高運賃問題についての検討を要請したところ、社長から「積年の課題である運賃値下げの可能性の検討に着手したい」との大変前向きなお話がありました。

今後、県としては、沿線住民の利便性向上や沿線の活性化に資するものとなるような、新たな運賃体系が実現されるよう、会社に対し、働きかけてまいります。

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

1点目は、家計にとって負担が大きい通学定期運賃を中心に、最大限の値下げを、出来るだけ早期に実施すること。2点目は、テレワーク等の浸透を踏まえ、都内への通勤需要に依存する収支構造から、沿線域内の移動をより活性化させる運賃体系に改めること。

県としてもぜひ、沿線市と協調して、値下げの実現に向け、積極的に取り組んでいただくよう、要望する。



八街市5児童死傷交通事故現場で哀悼の献花を捧げる滝田県議

千葉県新児童相談所

印西市に決定！

自民主導で県児相管轄区域見直し

質問 児童虐待防止対策プロジェクトチーム」が中心となつて、様々な提言を行ってきた。令和元年10月には我が党が主体となつて行った、「千葉県子どもを虐待から守る条例」の改正にあわせて、児童相談所の管轄区域の早急な見直しと増設など、児童虐待防止対策の更なる強化を求める附帯決議を行った。

これを受けて県執行部は、昨年1月、県社会福祉審議会に諮問し、同年6月、現

在の管轄区域を見直した上で、新たに2か所の増設が必要との答申を受け、このたび松戸市と印西市の公有地への建設を決めたとのことだ。

我が党としても、早い時期から要請や取り組みを進めてきた成果が表れたことは、非常に感慨深いものがあり、今後は、子どもたちや相談者にとって、より良い環境が提供できるような整備を進めていく必要がある。

と考える。

そこでうかがうが、児童相談所が新設されるが、どのような考え方で整備を進めていくのか。また、今後、児童虐待防止に向けてどのように取り組んでいくのか。

滝田副知事 新たな児童相談所の整備にあたっては、子どもの最善の利益を考え、保護や養育が行えるよう、環境整備を図っていくことが重要だ。

具体的な、子どもや保護者のプライバシーに配慮するため、相談者同士が顔を合わせることのないようなレイアウトとし、面談室の防音対策を講ずるとともに、一時保護所では居室の個室化を基本とするほか、年齢に応じた学習室や、感染症拡大防止対策を講じた部屋も確保していきたいと考えています。

また、支援方針など意思決定の迅速化を図るため、各部署が連携しやすいよう、執務室をワンフロアに配置するほか、研修室や会議室の拡充等、職員の執務環境

の改善を図るなどし、現場や関係機関と連携し、より良い児童相談所をつくり上げてまいります。

松戸市と印西市の児童相談所の整備については、今年度と来年度で基本設計、令和4年度から5年度にかけて実施設計、令和6年度から7年度にかけて工事、開設は令和8年度とされている。

進めるにあたっては少しでも早くオープンができるようスピード感を持って行うとともに、そこで勤務する職員の確保や人材の育成など、ソフト面も強化して、子供の最善の利益を考えた保護や養育をしっかりと行うことができる児童相談所となるよう取り組んでいたきたい。

たきた敏幸・PROFILE

- ・1960年 印旛郡印西町大森生まれ 大森小、印西中、県立我孫子高校卒
- ・1982年 同志社大学卒業
- ・1999年 印西市議2期
- ・2007年 千葉県議4期
- ・2008年 印西市消防団副団長
- ・2009年 総合企画水道常任委員長
- ・2010年 千葉県ラグビー協会会長
- ・2013年 総務防災常任委員長
- ・2016年 農林水産常任委員長
- ・2021年 千葉県監査委員

★2月県議会 県土整備常任委員会

県道鎌ヶ谷・本笠線 バイパス整備進捗 3年度開通目指す

滝田委員 現在、進められている鎌ヶ谷本笠線のバイパスが開通すれば、市内を南北に縦貫する道路となる。

り、周辺地域の交通の利便性がさらに向上することになる。そこでうかがうが、県道鎌ヶ谷本笠線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道鎌ヶ谷本笠線では、印西市萩原から栄町安食までの4.5キロメートルについて、バイパスを整備しています。

交通事故防止の決議 県議会全会一致可決

八街市で6月28日に起こった5児童が死傷する交通事故を受け、ちば自民党は速やかに国・県に対し「飲酒運転根絶」通

学路の一斉点検「歩道・ガードレール整備など安全対策」など具体的申し入れを行いました。さらに7月13日、県議会

において自民党提案「飲酒運転根絶と交通事故防止に関する決議」が全会一致で可決されました。

用地取得は完了しており、現在、令和3年度の供用に向け、旧長門川の渡河部を初め、全線にわたり、橋梁工事や道路改良工事を実施しています。

飲酒運転根絶と交通事故防止に関する決議

去る本年6月28日、本県八街市において、学校から下校途中の小中学生の列に酒気を帯びた運転者が運転するトラックが突っ込み、児童2人のかけがえのない尊い命が奪われ、3人が重篤となる痛ましく筆舌に尽くし難い事故が発生した。この悲惨な事故に、県民は大きな衝撃を受け、飲酒運転は絶対に許されるべきではないと決意した。

今回の事故は、運転者が酒気を帯びた状態で運転していたことが、一番の要因であり、飲酒運転で検挙される者が後を絶たない現状において、飲酒運転の根絶に向けての対策を一層強化することが必要である。そのためには、運転者及びその雇い主の徹底した法令順守をはじめとした、県民の交通安全意識を向上させるための啓発や指導体制の充実も急務となっている。

また、今回の事故現場は、通学路でありながら歩道やガードレールが未設置で十分な交通安全対策が取られていなかったことも課題として浮き彫りとなり、改めて児童生徒の通学路の点検を行い、危険箇所においては、全力を挙げて必要な交通安全対策を講じていくことも急務である。

これまで県では、交通死亡事故の根絶を図るべく様々な交通安全対策を講じ、その効果も見られてきているとの認識があったが、私たちは、いまだにその対策が十分でないことを改めて痛感した。

よって、本県議会は、「人優先の交通安全思想」の下に、関係機関・団体はもとより家庭、学校、職場、地域など、県民が一体となって飲酒運転を根絶するための施策展開を強く求めるとともに、全国に誇れる安全で安心な千葉県の実現に向けて行動することを、ここに宣言する。

以上、決議する。

令和3年7月13日
千葉県議会